

RI第 2820 地区

# 水海道ロータリークラブ週報



手を貸そう

2003～2004 年度

RI会長 ジョナサン B. マジアベ



NO. 1 9 9 7

例会 2004 年 7 月 7 日(水)

次回 7 月 14 日(水)

## 本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング・君が代

ビジター紹介

出席報告

SAA 報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

新年度会長・幹事挨拶

鈴木 豊会長・大串 卓幹事

次週予告

2004-2005 年度事業計画発表

各委員会委員長

2003～2004 年度

会長 島田

勝

幹事 秋田 政夫

例会場・例会日

事務所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

常陽銀行水海道支店内 3F

釜久ビル 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30

0297-22-1251

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://kinuyou.com/rc/>

### 本例会でのおもな事項

\* 会長挨拶

一年間を振り返って

\* 幹事挨拶

一年間を振り返って

\* 事業実績報告

各委員会委員長

幹事報告 (秋田政夫幹事)

週報受理 なし

例会変更通知受理 下館RC 6月30日(水) 午後6時30分より 三の丸ホテルダイヤモンドホール

### 会長挨拶 一年間を振り返って (島田 勝会長)



月日の経つのは早いもので、前会長の田中先生から襷を引き継いで、早一年が過ぎようとしています。振り返ってみますと、一年数か月の会長準備期間の会長エレクトとしての、PETS、地区協議会そして第1回目のクラブ協議会を経て、昨年7月2日に最初の例会がスタートしました。そこで、ジョナサン・マジアベRI会長の掲げる Lend A Hand(手を貸そう)の年度テーマ 貴方のクラブに手を貸そう 貴方の天職に手を貸そう 貴方の地域社会に手を貸そう 世界に手を貸そう、と四つの強調事項 ロータリアン家族への心遣い

で会員増強を、識字率向上、飢餓・貧困緩和の推進、保健問題への対応、そしてRI会長の語られたスピーチのあらゆる面に意を汲んだ、清水ガバナーの熱意溢れるメッセージと地区ガバナーとしての11の強調事項を紹介し、それを踏まえて、今年度のクラブの努力目標を申し上げました。

例会の活性化……これは会員増強と出席率の向上に繋がる。

地域社会のニーズに応えたロータリー100周年記念社会奉仕事業の実施

世界社会奉仕(WCS)プロジェクトへの参加協力

ロータリー財団及び米山奨学会への積極的支援

IT活用の推進によるクラブ及び会員への情報の伝達の確立

4半世紀振りの日本開催となる大阪国際大会への参加

を挙げ会員の皆さんへご協力をお願いし致しました。また、当クラブは今年度41年目ということで、40年を一区切りとして原点に戻り、クラブのテーマを『親睦と奉仕』としました。ロータリーの全ての奉仕活動の原点は例会出席であり、そこで活力を生む楽しい例会にするには、クラブの皆さんの例会出席が絶対条件であります。そのためにも、親睦を深め会員相互の融和を図り、会員への情報を十分に提供すると共に、会員増強と退会防止に力をいれクラブの活性化に向けて努力をしてきました。

1つ目の例会の活性化については……会員増強の純増3%は残念ながら結果を出す事が出来ませんでした。2名の推薦があり、そのうち一人の会員候補者がクラブ協議会において皆さんの承認を得ましたが、年度内の入会は微妙であります。しかし、次年度には入会するものと思います。また、プログラムにおいては、海老原プログラム委員長さんのお骨折りで、バランスの取れた内容での例会が出来たのではないのでしょうか。

2つ目の地域社会のニーズに応えたロータリー100周年記念社会奉仕事業の実施については……これから更に進むと思われる、高齢化社会に備えての高齢者のためのより健全なスポーツである、グランドゴルフの普及を応援する事と同時に、地域へのロータリーのPRのために、11月28日水海道グランドゴルフ

フ大会を実施し、約 140 名の参加を得、また、今年の 5 月 30 日谷和原大会を協賛の形で、100 余名の参加の下に実施し、その目的そして PR も十分に達成出来たのではないのでしょうか。

3 つ目の世界社会奉仕 (WCS) プロジェクトへの参加協力については……会員の皆さんにワンコインの寄付をお願いし、WCS 事業を行う予定でしたが、先輩からのご意見を伺い、理事会にて審議の結果、今年度は実施せず出来るだけクラブの独自性のある支援をすることになりました。そして、次年度への資金とし年度始めに使途を計画し、実施していただく事になりました。因みに現在の寄付額は 196,696 円となっています。一年間ご協力有難うございました。

4 つ目のロータリー財団及び米山奨学会への支援については……先ずロータリー財団は、年次プログラム基金人頭寄付金では一人 120 ドル、そして、年次プログラム基金では 31 名で 450,000 円の合計約 10,000 ドルに近いご協力を頂き、十分な支援が出来たのではないのでしょうか。因みに今年度の地区の年次寄付の平均は 74.5 ドルでした。また、米山奨学会につきましては、前年度には及びませんでした。総計 900,000 円という多額の支援を頂き、大きな実績が挙げられたのではないのでしょうか。財団、米山へのご協力有難うございました。

5 つ目の IT 活用の推進については……国際ロータリーの経費の節減を狙いとし、情報の伝達手段を IT 化に依存することを強力に進めており、2820 地区においても、最小限の条件として Eメールの活用による地区内の情報伝達方式を構築、移行し実施していくこと、ホームページの開き方、利用の仕方の技術習得と活用が進められました。当クラブにおいては、DICO の委員を兼ねる青木 CICO 委員長のご協力により、クラブは勿論のこと、会員への多くの情報を滞ることなく提供していただき、IT に対する対応も充分出来ました。有難うございました。また、石塚会員のお骨折りでクラブのホームページが開設されました。そして当クラブの会員以外の方からも多くのアクセスがあったそうです。是非皆さんにもクラブのホームページをご利用していただければと思います。石塚さん有難うございました。

6 つ目の国際大会への参加につきましては……これに対応するために、年度始め 10 名による担当委員会を組織し、石塚国際委員長を担当委員長に選出し、随時大会に関する情報を全会員に紹介し、その結果奥様を含め、24 名という多くの参加を頂きました。この数は地区においても上位の参加数となっております。

以上の成果、実績を挙げることが出来たのも、会員一人一人が RI 会長のテーマを良く理解された結果と思います。また、一番心配された財源については、今年度は、会員の増強がままならず、また退会者等があり、予想外の収入減となり、厳しい財源による予算編成となりました。今年度は『本会計』と『ロータリー奉仕活動』は分割会計となり、本会計予算が当初より大変厳しい状況でした。しかし、ニコニコ口からのロータリー奉仕活動への収入は、青木 SAA さんのお骨折りと、皆様のご協力の下、予定以上の成果があり順調に推移することが出来ました。また、今年度の予算編成に際しましては、昨年に続き週報の手作り、そして新たに『現況報告書』の手作り、『慶弔規定の交通費の改正』等財源の確保に努力いたしました。その結果委員長さんを初め委員の方々のご協力と秋田幹事のお骨折りにて赤字を出さずに次年度の鈴木年度に繰越金を出すことが出来ました。感謝申し上げます。

それではここで、時系列に振り返ってみたいと思います。先ず、8 月は会員増強拡大月間であり、会員増強及び退会防止は長年の命題であり、また、RI 会長及びガバナーの強調事項でもあり大変重要な為、7 月の第 1 回理事会に於いて、RI 会長の意向に沿って、地区同様会員増強委員会をロータリーファミリー会員増強委員会と改称し、瀬戸委員長による会員増強フォーラムを開催し、会員増強と退会防止の大切さを会員に訴えました。また、8 月 3 日～17 日まで男女各一名、計 2 名の夏期交換学生をオーストラリア・ツウンバへ送り出しをしました。帰国後の学生からの話では、大変貴重な 2 週間であり、この体験はこれからの人生にも大きな影響を与えるとの事でした。然し、残念なことはツウンバから学生が来られませんでし

た。このツウンバRCとのプログラムは1986年より始まり、今年で18年目を迎え、延べ双方併せて100名を越す学生の交換をしてきました。その結果国際友好と親睦だけでなく、学生たちにとって大変意義のある成果を挙げることが出来たのではないのでしょうか。8月17日には今年度初めて予算節減のため手作りとなった『現況報告書』が事務局の和久さんを初め数名の会員の協力により校正を含め、製本まで行われ大変立派に出来上がりました。良い思い出となりました。ご協力有難うございました。8月20日には、公式訪問に備えて亀尾ガバナー補佐が来訪し、ロータリーの綱領等について卓話をされました。そして、例会終了後事務所にて正・副会長・幹事を交えての事前打合せとご指導を頂きました。大変参考になりお蔭で公式訪問が成功裡に終わることが出来ました。また、23日には親睦委員会による納涼会(東京湾ディナークルーズ)が行われ、ご家族を含め約50名の参加があり会員と家族との親睦が深められました。只残念な事は、同じ日に地区の第1回会長・幹事会があり北村PGと私達は出席できなかった事が参加をされた皆さんに大変申し訳なく思っております。山崎委員長他委員の皆さんご苦労様でした。8月26日には、ロータリー情報委員会による情報集会在3年未満の会員と25年以上の会長経験者の方々の出席の下開催されました。北村委員長さんの進行で大変和やかな話し合いとなり、有意義な集会でした。気がついた事は、これからこのような集会には是非若いメンバーの方には積極的に参加することが、情報の収集と親睦を深める意味で大変必要ではないのでしょうか。9月に入り3日の大変蒸し暑い日に公式訪問が開催されました。今年度初めての手作りの現況報告書を基に午前中、事前の指導をガバナーより頂きました。そして、12時30分からの例会・クラブ協議会・懇談会・そして靴屋さんでのガバナーを囲んでの懇親会と長時間に亘り、多くの会員出席の下で行われ、クラブ協議会での各委員長さんからの自信に満ちた発表に対し殆ど指摘、また、注意を受けることなく、逆に多くのお褒めの言葉を頂きました。これも諸先輩方が築かれた歴史と伝統、そして会員の皆さんのお蔭と感謝いたします。9月5日には、恒例となっています、アサヒビールが会場での守谷RCさんの納涼会に約20名の会員で参加をし、外に参加をされた藤代さん、取手さんのメンバーとの交流を深めてきました。是非これからも他クラブへのメーキャップを通じてロータリーに対する意識を高める事も大切ではないのでしょうか。9月25日には、北村R情報委員長による、水海道RCの創立の月という事でクラブの歴史についての卓話を頂きました。我々若い会員には、クラブの歴史を知る事はこれからの活動にも大変勉強になりますので、機会があればまた詳細にお話を頂ければと思います。10月に入り、10月は職業奉仕月間と言う事で、田上委員長さんのお骨折りで、市内内守谷町にあります、日本郵政公社東日本物流センターの職場見学を多数の参加で実施いたしました。大変参考になりました。同じく10月は米山月間であり、熊谷米山委員長より米山の歴史、事業内容、また今年7月より変更された新表彰制度等についての卓話がありました。その結果70万円の多くの特別寄付の支援を頂きました。ご協力有難うございました。11月に入り、11月3日には社会奉仕委員会の事業の一つであります『薬物乱用防止』に関する運動であるポスターのコンクールが、保健所主催にて文化祭の中のイベントとして開催され、当クラブも協賛、支援をし、白井委員長から特別賞として水海道ロータリークラブ会長賞の授与を行いました。また、24~26日の3日間、日立市のあかさわ山荘において開催されました、第24回ライラセミナーに秋田地区委員、そしてクラブの新世代委員を含めた5名が参加されました。例会での報告では、80名の参加の下『家族愛』についての話し合いをされ、参加者との交流も深められ意義のあるセミナーに参加でき大変良かったとの報告を頂きました。新世代委員の皆さんご苦労様でした。11月28日には、ロータリー100周年社会奉仕記念事業での水海道グランドゴルフ大会を開催し、約130名の参加の下成功裡に終了しました。社会奉仕委員の皆さん、またお手伝いを頂きました会員の皆さんご苦労様でした。12月に入り、13日には学園にあります、カフェ・ナチュレにおいて家族親睦忘年会が開催されました。多くの会員を初め米山奨学生、会員のご家族の参加の下、ゲーム等を交え大変和やかに楽しい時間を過ごさせて頂き、親睦を深める事が出来ました。準備をされました関係委員会の皆さんご苦労様で

した。そして、後期に入り、1月7日の最初の例会では、海老原プログラム委員長さんの計らいで、新年に相応しい『初春・日本の調べ』という事で、民謡・尺八・相撲甚句等の日本民謡協会公認教授ご夫妻にお越し頂き、素晴らしい歌を聞き思い出に残る例会でした。24日には、親睦委員会による新年会がメンバーでもある『一久苑』さんで行われました。多数の出席の下、親睦を深め、松坂パスト会長さんの発声にて、後期に向けて参加者全員にてクラブの活性化を誓いました。2月に入り、2月14日には第8分区のIMが龍ヶ崎中央RCのホストにて、レークサイドくさぎにて開催されました。当日のミーティング1では、木村PGがクラブ奉仕と職業奉仕について、そして、当クラブの北村PGからは、社会奉仕と国際奉仕について、ロータリーの根幹である四大奉仕について懇切丁寧なお話を頂きました。また、ミーティング2では、2790地区のPGである石井亮太郎氏がリーダーを務め、3年未満の会員との話し合いがなされました。大変勉強になった1日でした。3月に入り、3月7日には、親睦委員会の事業であるサーカス・キダムの鑑賞会が実施され、会員を初め、多くのご家族の参加を頂きました。大変素晴らしいショーで久しぶりに感動しました。また、行き帰りの車中でも和やかで、楽しい時間を過ごす事が出来、会員とご家族の親睦も深まり思い出に残る鑑賞会でした。また、前年度から引き続いてお世話をしました、米山奨学生の劉 玲さんが、筑波大学の大学院を無事終了され帰国の挨拶を頂きました。2年間カウンセラーを務めて下さいました長塚さんご苦労様でした。会員一同心より感謝申し上げます。4月に入り、4月3日・4日の2日間、日立シビックセンターに於いて日立RCのホストにて地区大会が開催され、地区委員と会長・幹事は2日間、そして会員の皆さんには、4日早朝より雨の降る肌寒い中ご参加を頂きました。ご協力有難うございました。大会1日目の会長幹事会での表彰では、前年度のロータリー財団への寄付実績に対し、RI会長賞をロータリー財団寄付成績優秀賞の年次プログラム寄付人頭寄付での1位と、年次プログラム寄付1位の2つの部門を秋田幹事と共に登壇し、菅野RI会長代理からバナーを頂き、思い出に残る経験となりました。また、個人の表彰では、松坂会員が25年100%出席の表彰を受けました。このことは我々若い会員にとって良いお手本となりました。これからもお体に留意され30年そして35年と頑張ってくださいと思います。5月に入り、19日はオーストラリア・ツウンバRCよりエロル様ご夫妻が、26年ぶりに日本で開催されます大阪国際大会への出席に先駆けて、当クラブにお越しになり、その歓迎会を多くの会員、そして奥様の参加を頂き開催されました。今回のご夫妻の来日に際し、成田への出迎え、そして18日の日光見学また、19日の笠間への見学そして、夜の歓迎会と多くの皆さんのおもてなしに対し、ご夫妻は大変喜ばれ、箱根に向かわれました。ホストファミリーを受けていただきました飯塚会員、また色々とお骨折りをくださいました五木田会員さん、そして多くの会員の皆さんご協力有難うございました。また、22日、23日には、大阪で開催されました国際大会に奥様を含め24名が参加を致しました。23日の開会式は開会の時間が大変遅れたために、帰りの時間の関係でセレモニーを見る事が出来ず残念でした。でも、国際大会の雰囲気は少しですが味わえて感動いたしました。2日という強行スケジュールではありましたが、石塚委員長さんの綿密な計画と準備、そして熊谷会員のお骨折りで、京都見学を含め、大変楽しいそして、思い出に残る国際大会でした。参加をされました皆さんお疲れ様でした。

以上月毎に一年の行事を振り返ってみましたが、これらの成果及び実績は諸先輩の心暖まるご助言と会員皆様のご指導とご協力による支えがあったからこそと思います。感謝申し上げます。忘れてはならない、事務局の和久さんには、週報の作成、事務一般と今年初めての現況報告書の手作り、また、秋田幹事の補佐として一年間大変なご協力を頂き有難うございました。そして、一番お世話になりました秋田幹事さんには、会長職に対し全面的なバックアップを頂き、感謝の言葉もありません。お蔭様で、責任を全うする事が出来ました。心より御礼を申し上げます。最後に私が、この日を迎える事が出来ましたのも、会員皆様のご指導そしてご協力の賜物と深く感謝申し上げます。会員皆様のご健勝と鈴木年度の益々の発展をご祈念申し上げ御礼の挨拶とさせていただきます。

## 幹事挨拶 一年間を振り返って（秋田政夫幹事）



一年前の今日の心境は、幹事としてのスタートを目前にしてその準備に追われながら重責に対して不安一杯でした。なぜならば、本年度の地区協議会、分科会での幹事としての研修内容に大変不安があったからです。ただ、幹事としての一般的なマニュアルを渡されて本筋の学習がなされませんでした。しかし、その分島田会長が親切にご指導を下された事は大変ありがたく感じました。さて、本年度も次週の例会を残し、事実上本日がファイナル例会となりました。この一年間、会員の皆様には暖かいご指導、そして励ましの言葉をいただき誠に有難うございました。島田会長のクラブ運営方針に添い、その任務に務めてきましたが、日々新たにその難しさを感じ、なかなかゴールが見えず、期待に添える事が出来ませんでした。幹事として、常にクラブの運営における全ての情報の発信地、受信地としての機能、あるいは地区内外の情報の伝達としての機能、そして効率的なクラブ運営への配慮をモットーとしてきたのですが、つまずき、間違いが多くありご迷惑をお掛けいたしました。また、クラブ内の事業活動につきましては、それぞれの委員会が当初の事業計画、予算計画に基づき役割を果たしていただき感謝を申し上げます。また、地区事業活動への参加につきましても大変ご苦勞様でした。それから、事業活動を支える財務面につきましては、特段のご理解とご協力を頂きました。会員減少による収入減少の中で、本年度は数々の事業において皆様へのご負担をお掛けしました。また、奉仕活動を支える源であるニコニコBOXへのご協力に感謝を申し上げます。ご承知のように本年度より一般会計とR奉仕活動会計が分離されて、双方間の流用が困難になりました。いつも預金通帳とにらめっこで、特に前期から後期に変わるときの残高は僅かとなり、大変不安でした。しかし、皆様のご協力により次年度のスタートに際し、十分な繰越金を生むことが出来そうです。これからも経費削減ではなく経費節減の方向性を見出していかねばならないと思います。大きな反省点として、クラブ行事と地区行事、分区行事がマッチングしないように配慮をしていかなければならないと思います。本年度もクラブ納涼会と地区会長・幹事会が同日となり、クラブの事業に幹事として参加出来ず、ご迷惑をかけてしまいました。地区事務所と、分区事務所と緊密によく連絡を取り合うことも大切であると感じています。色々反省点が多くあるのですが、大変多くの貴重な経験と勉強をさせていただき、私にとって充実した1年が今終了出来ますこと、皆様に感謝と御礼を申し上げ、最後に次年度鈴木会長、大串幹事年度のさらなるご活躍をご祈念申し上げます。

## 委員会事業実績報告

### 新世代奉仕委員会（古谷榮一委員）

2003年10月24日～26日、日立市においてライラへの参加、当クラブよりメンバー4名、受講生1名が参加しました。教育改革プログラムにおいては、当クラブメンバー12名が登録を致しました。ボーイスカウト、ガールスカウトに対する賛助金の提供及び総会への参加を致しました。

### ロータリー財団委員会（五木田利明副委員長）



大塚委員長から預かりました文書を読みたいと思います。また、私の感じた事を少し述べたいと思います。ロータリー財団ご協力有難うございました。方針は、会員1人当たり120ドル。達成にはなりませんでしたが、普通寄付のご協力により目標に近い数字が出来ました。ただ集金に携わり私も含め、よく理解されてなかった人も多かったと思います。次年度はご理解していただき、是非寄付をお願いいたします。また、ワンコイン募金も皆様のご理解にて大きな募金ができました



事御礼申し上げます。

**SAA** (青木清人委員長)

小島会員、松村会員、鯉沼会員、私青木の4名で助け合いながら会場監督を務めさせていただきました。色々ミスが多かったんですが、特にソングにつきましてはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。ニコニコボックスにつきましては、今日を含めて1,958,500円で予算では、1,800,000円だと思っております。ノルマは達成でき繰越金も出来たのではないかと考えております。弁当の方ですが、この会場で41回例会がありました、そのうちピタリ賞が7回ありました。残が83個、平均2個くらい余ってしまいました。反省しております。一年間有難うございました。



**国際奉仕委員会** (石塚克己委員長)



本年度の当委員会の事業実績報告を致します。

1. 7月に国際奉仕・R財団合同セミナーに参加
2. 11月に国際奉仕研究会(ツインクラブの拡大と啓蒙)
3. ツウンバRCへの青少年交換学生2名の派遣(8月)
4. 米山奨学生送別会へ出席
5. ツウンバRCからのロータリアンとご夫人の接待
6. 大阪国際大会参加を企画し、19名の会員と5名のご夫人の登録
7. ツウンバRCへ3名の交換学生候補者を募集

**プログラム委員会** (海老原良夫委員長)

本年度は、副委員長に染谷会員、委員に草間会員、私の3名で委員会を構成しておりました。月毎には、ロータリーの月間の目標に沿った内容、外部卓話については出来るだけ新しい方をという方針で、一年間プログラム委員会を運営してまいりました。いろいろと反省点もありますが、引き続き次年度の染谷委員長さんに宜しくお願ひしたいと思っております。



**ロータリー情報委員会** (北村 仁委員長)



ロータリー情報委員会は、ロータリーをより理解を深める事によって、会員の質の向上を目指し、会員の退会防止、地区、クラブの奉仕活動への参加を促す事を目的に次のことを実行して参りました。

1. 8月に入会3年未満と会員歴25年以上の会員による情報集会を開催し、19名の参加を得ました。
2. 8月 2820 地区について卓話
3. 9月水海道ロータリークラブ創立記念卓話
4. 1月ロータリー世界理解推進月間に因んで、ロータリーの歴史、社会奉仕について卓話
5. 新入会員のしおりについては、種々の資料を収集し、次年度委員会に託しました。

**出席報告** (福田克比古委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク
49名	36名	13名	1名	15名

出席率 100.00%

**ニコニコボックス**（青木清人委員長）

- ・一年間ご指導、ご協力を頂き有難うございました。 島田会員
- ・一年間大変お世話になりました。次年度皆様のご健勝とさらなるご活躍をご祈念申し上げます。  
秋田会員
- ・一年間大変お世話になりました。来年も今年同様宜しくお願いします。 鈴木(豊)会員
- ・一年間お世話になりました。島田会長・秋田幹事ご苦勞様でした。 青木(正)会員
- ・職業奉仕一年間お世話になりました。 田上会員
- ・プログラム委員会一年間お世話になりました。 海老原会員
- ・SAA席も本日の例会で最後となります。一年間有難うございました。 鯉沼会員
- ・SAA一年間ご協力有難うございました。 青木(清)会員
- ・一年間お世話になりました。 古谷・熊谷・福田・小島・草間・松坂・松村・石塚(克)・北村(仁)・大串  
各会員
- ・本日入会1年目になります。 横山会員
- ・とあるコンペで新ペリヤで初めて優勝しました。 白井会員

入金計 ¥72,000 累計 ¥1,958,500

会報委員会 委員長 山崎善市 副委員長 斎藤広巳

